

## 第71回抗がん剤研修会（集中講義）参加者アンケート集計結果

開催日時： 2013年12月8日（日） 9：30～17：00

開催場所： 大宮法科大学院大学（OLSビル）2F 講堂

- 演題1 「WHO方式がん疼痛治療法に則ったオピオイドの使い方の現状について」  
塩野義製薬株式会社 埼玉医薬営業部  
さいたま第一営業所 所長 熊谷 知晶
- 演題2 「腎細胞がんの最新の薬物療法」  
ファイザー株式会社 オンコロジー事業部門  
営業学術部 課長 関矢 政嗣
- 演題3 「再発卵巣癌」  
日本イーライリリー株式会社 オンコロジー事業部  
関東支店学術企画 田中 陽子
- 演題4 「乳癌薬物療法の最新の話題」  
エーザイ株式会社 オンコロジーhhcユニット  
メディカル企画推進室 室長 渡辺 達夫
- 演題5 「がん領域での活動を考える～都病薬がん領域の過去・現在・未来～」  
昭和大学病院 薬剤部 係長 清水 久範

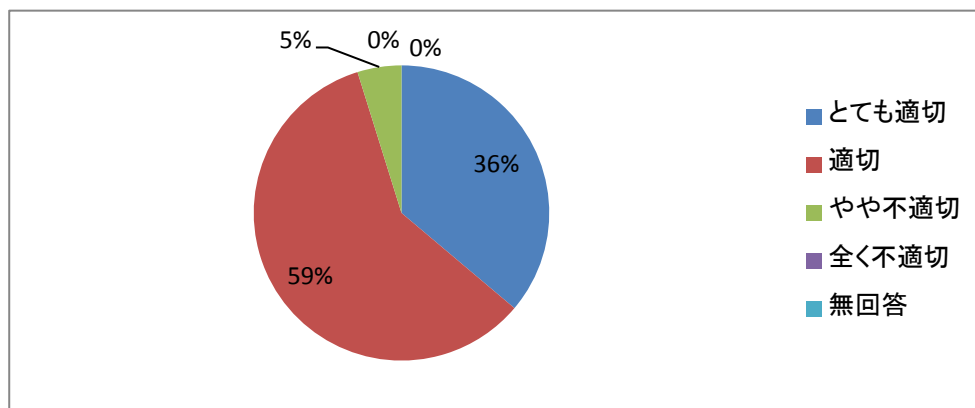
総合評点
3.3
(4件尺度)

研修者数	アンケート提出数	アンケート回収率	アンケート意見あり（枚）
90	83	92%	32

評価記入---4. とても適切 3. 適切 2. やや不適切 1. 全く不適切

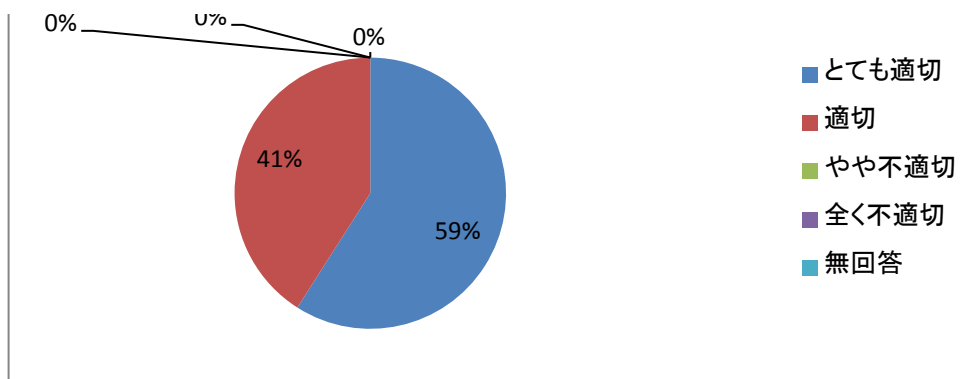
### 1. 講演テーマについて

1-①	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	30	49	4	0	0	3.3

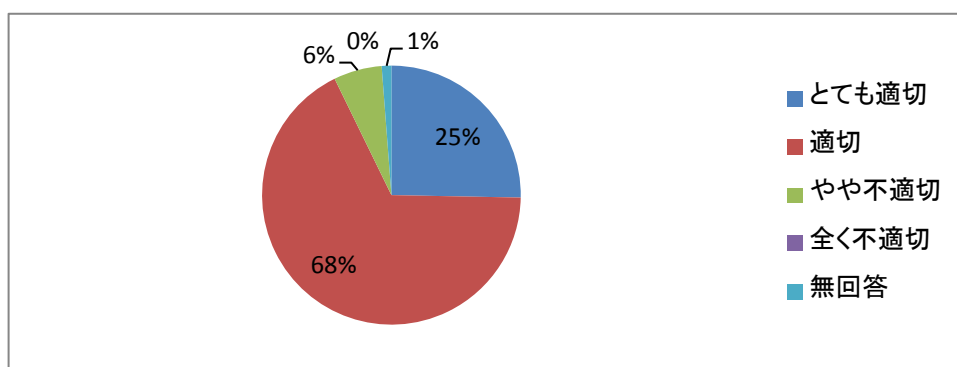


1-②	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	49	34	0	0	0	3.6

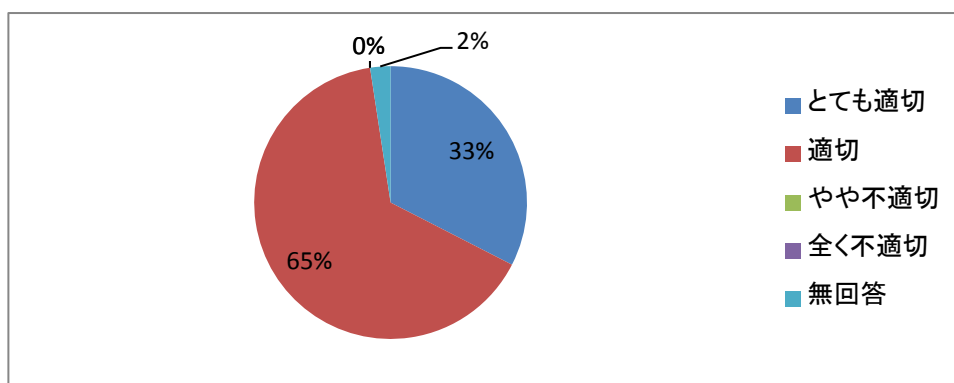
--	--	--	--	--	--	--



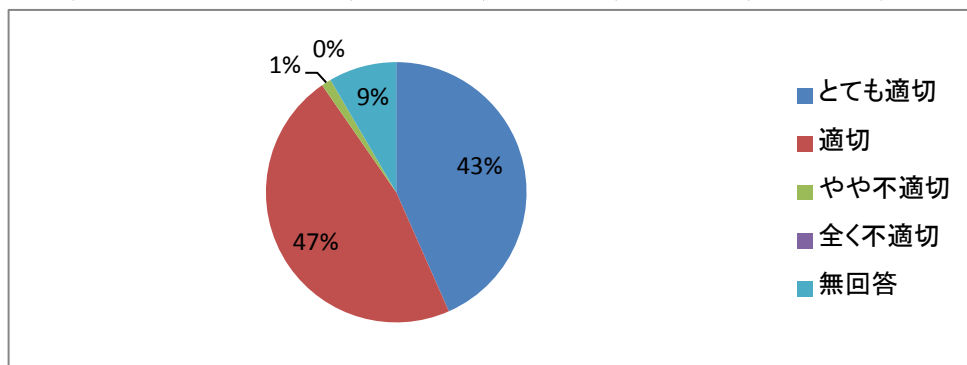
1-③	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	21	56	5	0	1	3.2



1-④	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	27	54	0	0	2	3.3

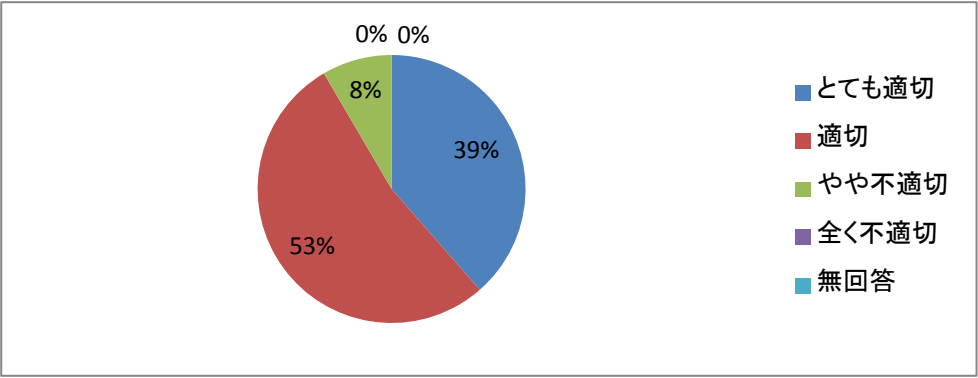


1-⑤	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	36	39	1	0	7	3.5

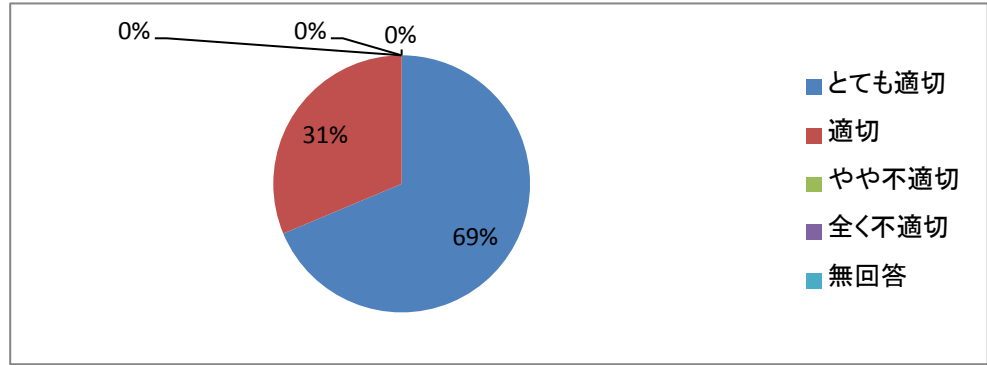


## 2. 講演内容について

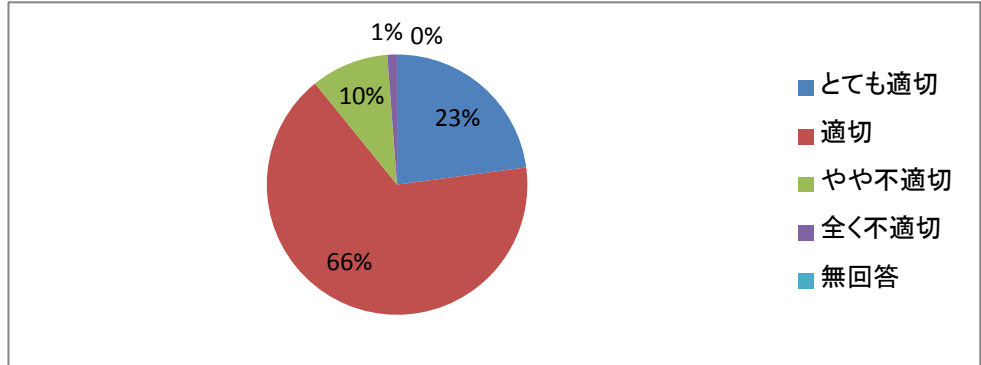
2-①	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	32	44	7	0	0	3.3



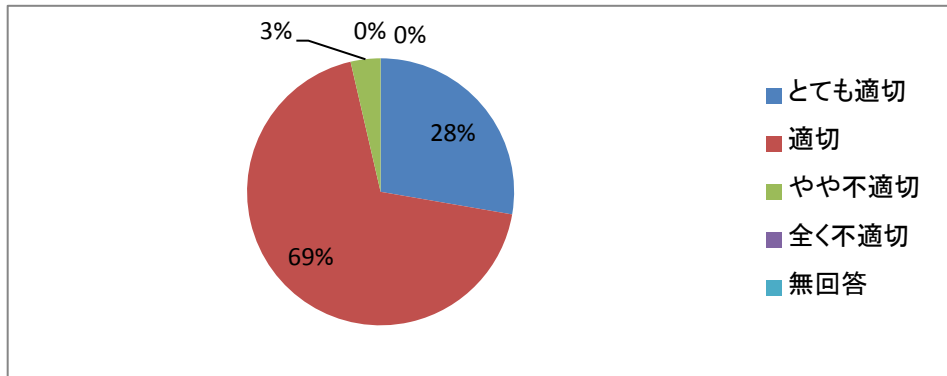
2-②	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	57	26	0	0	0	3.7



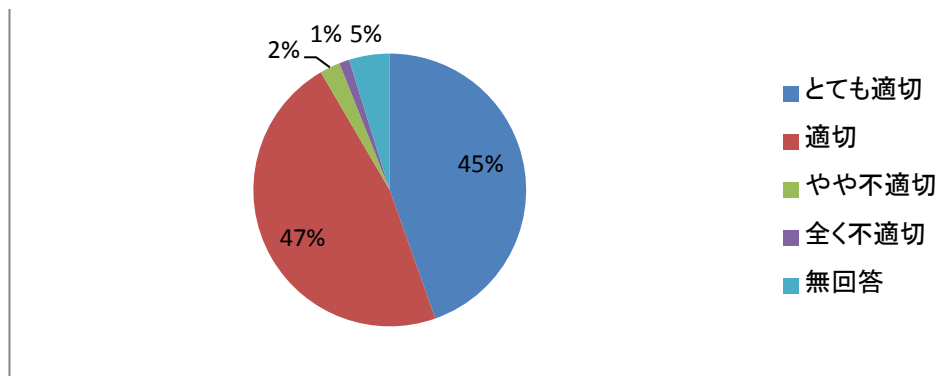
2-③	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	19	55	8	1	0	3.1



2-④	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	23	57	3	0	0	3.2

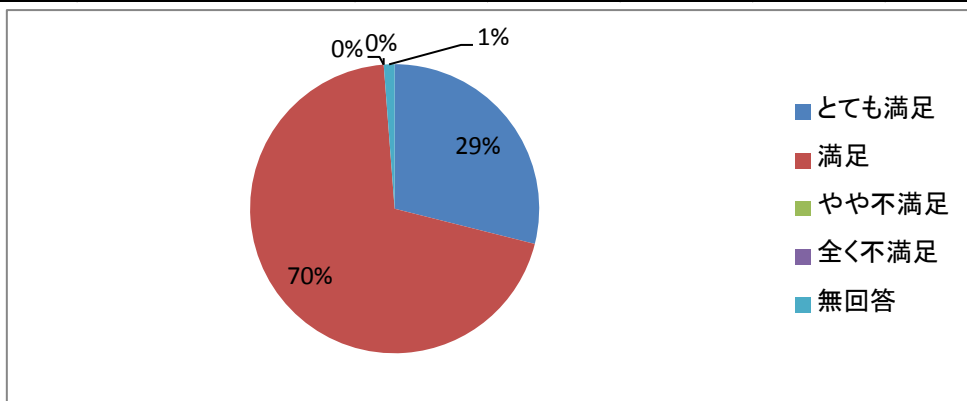


2-⑤	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
	37	39	2	1	4	3.3



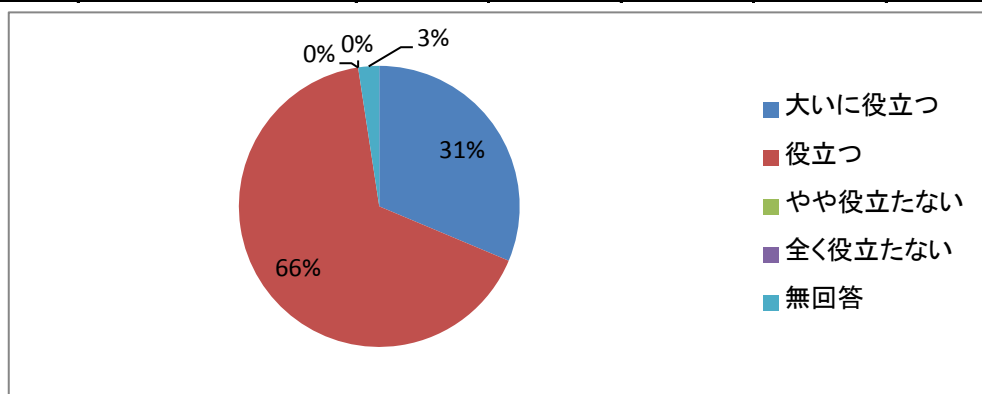
### 3. 本研修会の印象について

3	とても満足	満足	やや不満足	全く不満足	無回答	平均
	24	58	0	0	1	3.3



### 4. 本研修会で学び今後の業務に役立つか

4	大いに役立つ	役立つ	やや役立たない	全く役立たない	無回答	平均
	26	55	0	0	2	3.3



## アンケート意見 (32枚)

### 1. 講演テーマについて

1-①	非常に基礎的な内容だったので頭の中の整理がついた	1
	新人向けには良かったが、オピオイドの使い方の講義だったらフェンタニル速放剤について聞きたかった	1
	内容が基礎的だった	1
	シオノギに傾いた話だった	1
1-②	客観的でおもしろかった	1
1-③	声が小さく、スライドが見づらかった	1
	ベバシズマブの試験がメインだったのでリリーさんよりも中外さんの方がよかったのではないかと	1

### 2. 講演内容について

2-①	もう少し臨床での情報があるとよかった	1
	最新の話題が少なく感じた	1
	一世代前の研修内容であった気がする (レスキュー薬の使い方など)	1

2-②	エビデンスに基づいて為になった	1
2-③	GEMの位置づけが、あいまいなまま終わってしまった	1
	アバスチンの話をもっと入れてほしかった	1
	添付文章レベルの内容だった	1
2-④	エリブリン以外の併用データが見たかった	1
2-⑤	研修内容のテーマから外れている	1
	病院薬剤師として何をするか？後半では不明になった発表だった	1
<b>4. 本研修会で学んだことは今後の業務に役立つか</b>		
	抗がん剤処方扱っていないが、JPALSのプレチェックのために必要だった	1
<b>5. 今後取り上げてほしいテーマについて</b>		
	骨髄腫	1
	脳腫瘍	1
	膵臓がん	1
	大腸がん	1
	消化器がん	1
	血液がん	3
	血液内科	2
	糖尿病	1
	乳がんの化学療法	1
	小児、新生児科領域の薬物療法や症例解析など	2
	各がん種の最新の治療と支持療法	1
	支持療法	1
	フエンタニルレスキューの使用例と管理上の注意	1
	副作用対策（予防と治療）	2
	薬薬連携	1
	オピオイド以外の緩和医療で使われる薬剤について	1
	トリプル試験	1
	疼痛症状に合わせた鎮痛補助剤の使い分け	1
	医薬品評価に必要な統計解析を基礎から応用まで	1
	レジメン管理	1
<b>6. 本研修会で気づいたこと・質問・希望</b>		
	病院薬剤師の勉強会なので、もう少し臨床で活かせる内容がよかったと思う（副作用やマネジメント方法等も含めての講義）	1
	限られた採用薬でしか治療ができない医療機関では限界があり、最終的には大学病院などの大きな医療機関に転院したりしなければいけないので患者が受けられる医療に格差が生じてしまう。中小病院では限界だと思う	1
	がん専門や薬物療法認定薬剤師でなくても、十分やれるはずだと思う	1
	共通言語を理解していないと多職種コミュニケーションに参加できない	1
	いつも非常に勉強になっているので続けてほしい	1
	配布資料はカラーがいいと思う（イメージがつかみやすいから）	2